

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ

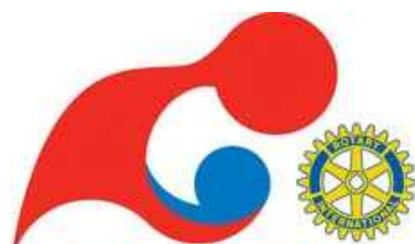


クロッカス



2月の常総市運動公園

撮影者: 倉持孝幸氏 常総市羽生町在住



夢をかたちに

2008-09年度 RI会長

李 東建

2008-09年度 会長テーマ

確かな絆で未来へ

VOL. 46 No.27(通算No.2188)

2月18日(水)

2008 2009年度 会長 秋田 政夫 幹事 染谷 正美

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

2009年2月18日(水)例会プログラム

点鐘
ロータリーソング・四つのテスト
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話
メーディ・アーマディヤール様
茗溪学園国際教育部長



表紙 花の説明

- 文目(あやめ)科。
- 学名 *Crocus vernus*
Crocus : サフラン属
vernus : 春咲きの
- Crocus (クロッカス)は、ギリシャ語の「*croce* (糸)」から。
- 開花時期は、2/10頃～ 3/10頃。
- 球茎の代表的な種類。
- 白、黄、青、紫など、
いろいろな色の品種がある。
- 葉は松葉のように細く、
真ん中に白い筋が入る。
- 別名「花サフラン」。

例会報告 Vol.46 No.26 (No.2187) 2月4日(水)晴れ (司会 北村英明委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 秋田政夫会長

外部卓話

海老沢千春様

ビジター

インド舞踊家 海老沢千春様

誕生祝



会員 鈴木勝久会員



幹事報告 (染谷正美幹事)

週報受理クラブ 竜ヶ崎RC、牛久RC

例会変更クラブ 竜ヶ崎RC 2月24日(火) 2月28日(土)IM出席

牛久RC 2月9日(月)午後7時より 甲子亭

会長挨拶 秋田政夫会長

こんにちわ。海老沢千春様お忙しい中、本日は有難うございます。1月も終わり暦の上では今日から立春を迎えましたが、まだ春遠くに有りと言った感じがします。去年は節分に大雪となりました。しかし、良く観察すると梅の花も少し咲き始めて、水仙や菖蒲の薹の小さな芽を見ることができ、着実に自然は春を迎えているようです。

THE WEEKLY REPORT



さて、ロータリー活動においてこの2月は世界理解月間となっています。1昨日、つくば市に在る独立行政法人国際協力機構、筑波国際センター内の青年海外協力協会「JICA筑波事務所」並びに海外からの研修受入れ施設を訪ねて来ました。ちなみに国際協力開発機構の理事長はロータリー財団奨学生第1号の緒方貞子さんです。そして、25日の例会における外部卓話者の依頼をしてきました。青年海外協力隊員による体験のお話になると思います。

尚、このような事務所、拠点は現在日本に17箇所、海外拠点96箇所あり、つくば市の研修宿泊施設が一番充実をしているそうです。現在、JICA筑波事務所では毎年海外から男女共150名の研修生を受け入れ、日本の先進的な学術、技術を学び帰国後はそれぞれ母国のために役割を果たして行くそうです。また、比較的ハイレベルの能力を有している研修生で、共通語は英語となっており、各研究機関、筑波大学とも連携を取り研修をされているそうです。また、依頼があれば地域の小中学校にも出向いて国際交流活動にも取り組んでいます。

親切に対応をくださったJICA筑波の事業担当女性主任、宮本則子さんもまた青年海外協力隊員として発展途上国において活躍をされた方で、いろいろな体験や日本との比較のお話を次にお話してくださいました。「国、地域社会、家、貧しくても子供たちを含めて明るさが有り、集落、家族仲良く深い絆で結ばれていて、今、日本で失いかけている精神的な豊かさを感じることができた。また、援助の仕方については、それぞれの現地の事情、生活、文化水準にあったものが最適で、只、物を与えるだけではなく技術や経験を伝える事がたいせつです。また、世界中においては、日本も含めて先進国といわれるほんの一握りの人々に物質的な豊かさが有り、殆どの人々は明日生きるための苦しい生活を強いられている」と話されていました。そして、最後に子供たちの教育が社会づくりに一番重要なことではとの結論でした。

世界人口65億人の中で10億人以上が1日1ドル以下しか使えない生活を余儀なくされていて、5人に1人しか満足に食事できない生活をしているということは、豊かな日本社会の中では信じられないことではないでしょうか。

現在、JICAでは約2775人を青年海外協力隊として77カ国に、シニア海外ボランティア650人を55カ国に派遣をしているそうです。また、毎年4月にこの筑波事務所では一般公開イベントを開催し、国際理解を深めているそうです。

外部卓話 南インド古典舞踊 海老沢千春様



